

二期トンネル整備工事の進捗状況について

水 道 課

1 要旨

平成18年8月に発生した送水トンネル崩落事故及び平成30年7月豪雨災害を踏まえ、海田から呉・江田島方面への送水トンネルの二重化を図るため、二期トンネルの整備を推進しており、8月末時点の進捗状況について報告する。

2 進捗状況

- 平成30年10月にトンネル掘削機械による掘削を開始し、矢野～二河工区のうち、吉浦～二河区間の約2.4kmについては令和元年12月に貫通している。
- 令和2年4月からは施工体制を2交代から3交代に強化し、週当たりの掘進延長が両工区とも1.4倍程度（週当たり30～32m程度が42～45m程度）伸びている。
- 8月末時点の進捗状況は、全体延長14.3kmのうち5.4kmの掘削が完了している（進捗率37.8%）。

工区	海田～矢野工区	矢野～二河工区
工事場所	安芸郡海田町東海田 ～広島市安芸区矢野町	広島市安芸区矢野町 ～呉市二河峡町
請負業者	前田・国土・河井共同企業体	戸田・錦・洋伸共同企業体
工事延長	L=4,492m	L=9,852m
掘削延長	L=2,082m（進捗率46.3%）	L=3,334m（進捗率33.8%）
残延長	L=2,410m	L=6,518m

3 今後の見込み

- 海田～矢野工区については、これまでの施工実績により、残りの2,410mのうち、900m程度硬質な岩盤が続き、残りの1,500m程度は脆弱な地質であると想定している。
- 矢野～二河工区についても同様に、残りの6,518mのうち、6,300m程度は硬質な岩盤が続き、工区境付近の200m程度は極めて脆弱な地質であると想定している。
- 硬質な岩盤では掘削機械のカッターの摩耗が課題となる一方で、脆弱な地質ではトンネルの補強が必要となり、また湧水の発生も懸念されるため、日々の状況を注視し工程管理に努めながら、令和4年度末の完成を目指す。

